

第 I 部 調査結果の概要

1 平成24年の概況

～ 生産・出荷指数は前年から上昇するが、在庫指数は低下 ～

○ 鉱工業指数は、生産・出荷共にわずかではあるが前年を上回った。(生産 101.9 [前年比 2.0%上昇], 出荷 99.2 [前年比 1.4%上昇])

～四半期別(季節調整済指数)でみると～

- 生産指数は、平成24年Ⅰ期、Ⅱ期には前期を上回ったものの、平成24年Ⅳ期に100を割った。
- 出荷指数は、平成24年Ⅱ期に平成22年Ⅳ期以降6期ぶりに100を上回ったものの、他は90台後半で推移している。
- 在庫指数は、平成24年Ⅳ期を除いて前期を上回っており、平成23年Ⅱ期以降100を超えて推移している。

(1) 鉱工業生産指数

鉱工業生産指数は、101.9(前年比2.0%上昇)。2年ぶりに前年を上回った(図1)。業種別にみると、一般機械工業(総合)、電子部品・デバイス工業、木材・木製品工業など10業種が上昇し、金属製品工業、電気・情報通信機械工業、食料品・たばこ工業など8業種が低下した(図2)。

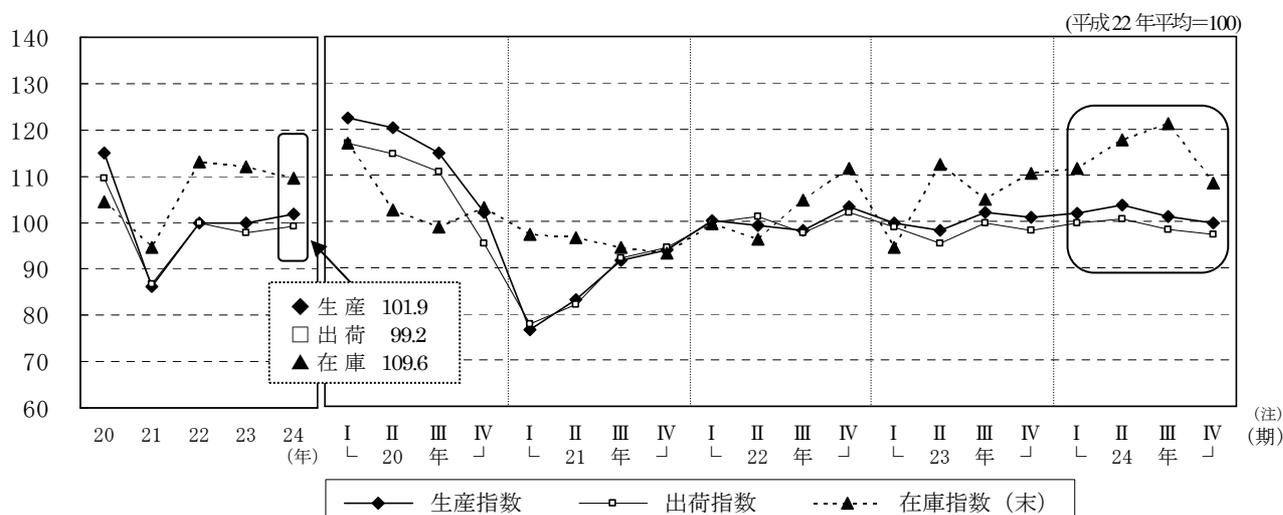
(2) 鉱工業出荷指数

鉱工業出荷指数は、99.2(前年比1.4%上昇)。2年ぶりに前年を上回った(図1)。業種別にみると、一般機械工業(総合)、電子部品・デバイス工業、プラスチック製品工業など8業種が上昇し、電気・情報通信機械工業、金属製品工業、化学工業など10業種が低下した。

(3) 鉱工業在庫指数(末)

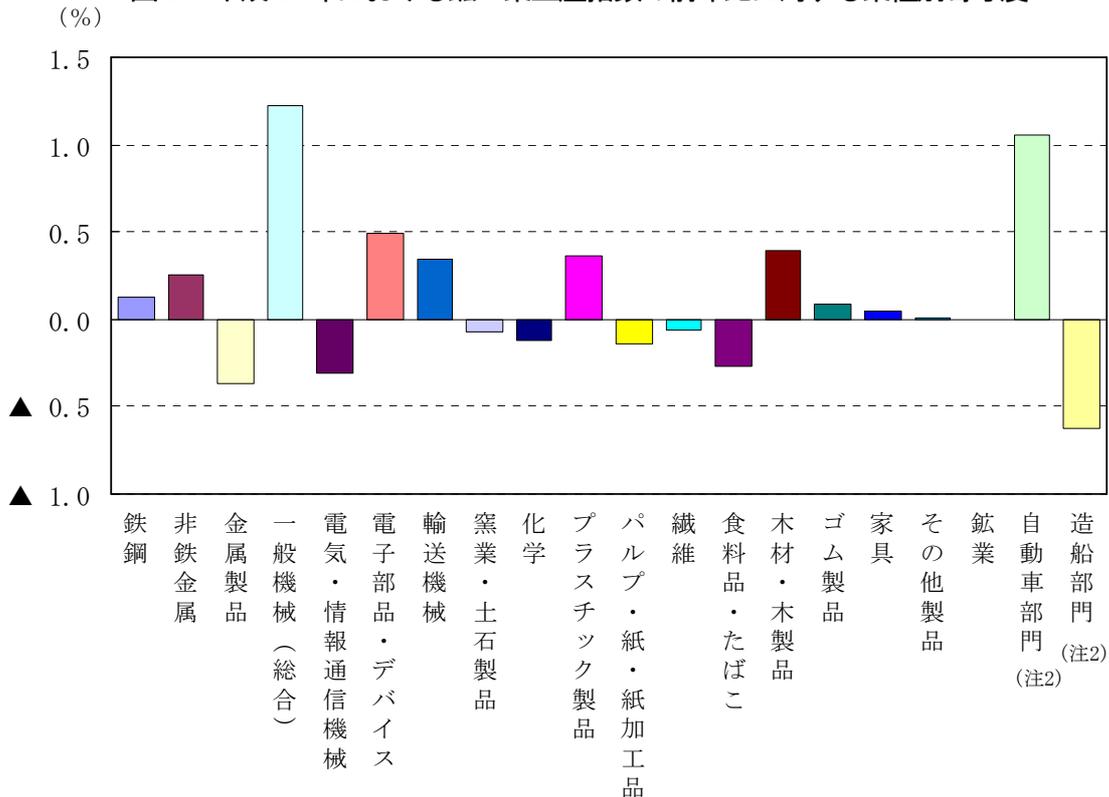
鉱工業在庫指数(期末在庫)は、109.6(前年比▲2.1%低下)。2年連続で前年を下回った(図1)。業種別にみると、繊維工業、プラスチック製品工業、化学工業など7業種が上昇し、鉱業は横ばい、輸送機械工業、一般機械工業(総合)、鉄鋼業など9業種が低下した。

図1 鉱工業指数の推移(年は原指数、四半期は季節調整済指数)



(注) Ⅰ期: 1~3月, Ⅱ期: 4~6月, Ⅲ期: 7~9月, Ⅳ期: 10~12月

図2 平成24年における鉱工業生産指数の前年比に対する業種別寄与度^(注1)



(注1) 寄与度とは、鉱工業指数全体の上昇・低下に対し、各業種の上昇・低下が、どの程度影響を与えているかを示したものである。

(注2) 自動車部門とは、輸送機械工業18品目のうち、小型自動車など自動車関連12品目と、電気・情報通信機械工業の自動車用電気照明器具の合計である。

造船部門とは、輸送機械工業のうち、船用ディーゼル機関など造船関係5品目の合計である。

2 生産の業種別動向 (寄与度順)

(1) 前年比が上昇した主な業種

上昇した主な業種	前年比	寄与度	上昇した主な品目
一般機械工業 (総合)	6.9%	1.2%	ショベル系掘削機, ボイラの部品, 研削盤
電子部品・デバイス工業	8.1%	0.5%	半導体集積回路, 混成集積回路, 電子回路基板
木材・木製品工業	28.0%	0.4%	特殊合板

(2) 前年比が低下した主な業種

低下した主な業種	前年比	寄与度	低下した主な品目
金属製品工業	▲15.6%	▲0.4%	橋りょう, 飲料用アルミニウム缶, 水門
電気・情報通信機械工業	▲5.8%	▲0.3%	携帯電話, 低圧遮断器, 開閉制御装置
食料品・たばこ工業	▲7.0%	▲0.3%	清涼し好飲料, しょうゆ, 海藻加工品

3 関連業種別生産指数の推移

機械関連業種、素材関連業種は上昇、生活関連業種は3年ぶりの低下

業種別の生産指数を、機械関連業種、素材関連業種、生活関連業種の3関連業種に分けて分析すると^(注)、平成24年は、機械関連業種は2年ぶりの上昇、素材関連業種は3年連続上昇、生活関連業種は、3年ぶりの低下となった。生活関連業種以外は、大幅な増減はなく、前年からほぼ横ばいで推移している(図3、4)。

図3 鉱工業生産指数の前年比の推移

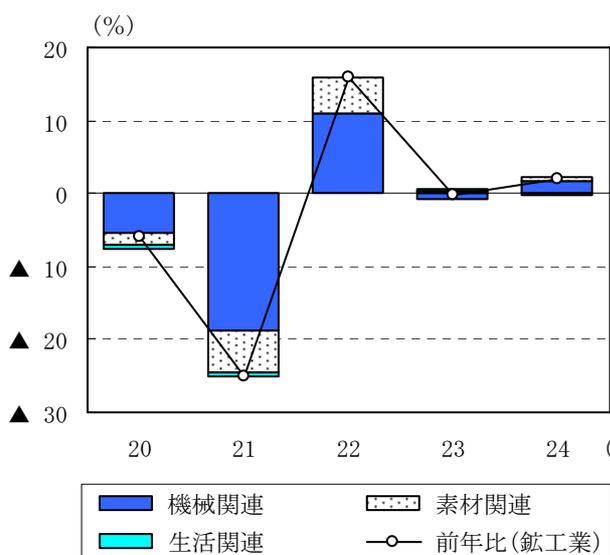
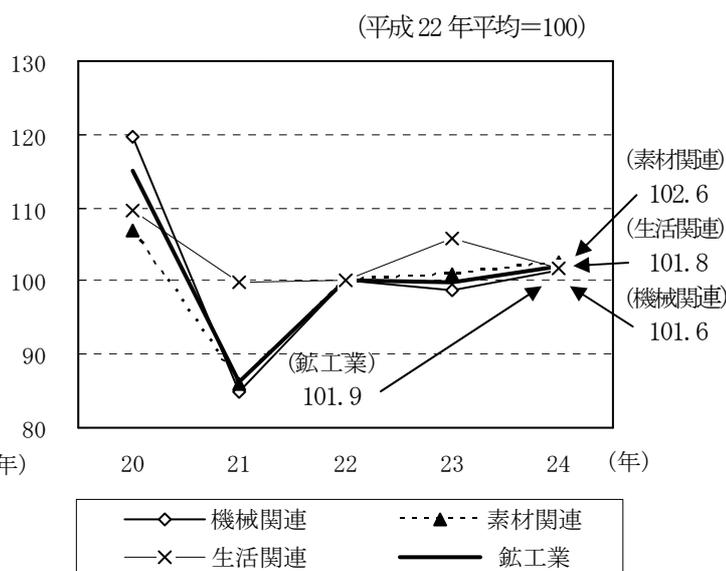


図4 関連業種別生産指数の推移



(注) 各関連業種の分類は、次のとおりとした。

機械関連業種：一般機械工業(総合)，電気・情報通信機械工業，電子部品・デバイス工業，輸送機械工業の4業種

素材関連業種：鉄鋼業，非鉄金属工業，金属製品工業，窯業・土石製品工業，化学工業，プラスチック製品工業，パルプ・紙・紙加工品工業，木材・木製品工業，ゴム製品工業の9業種

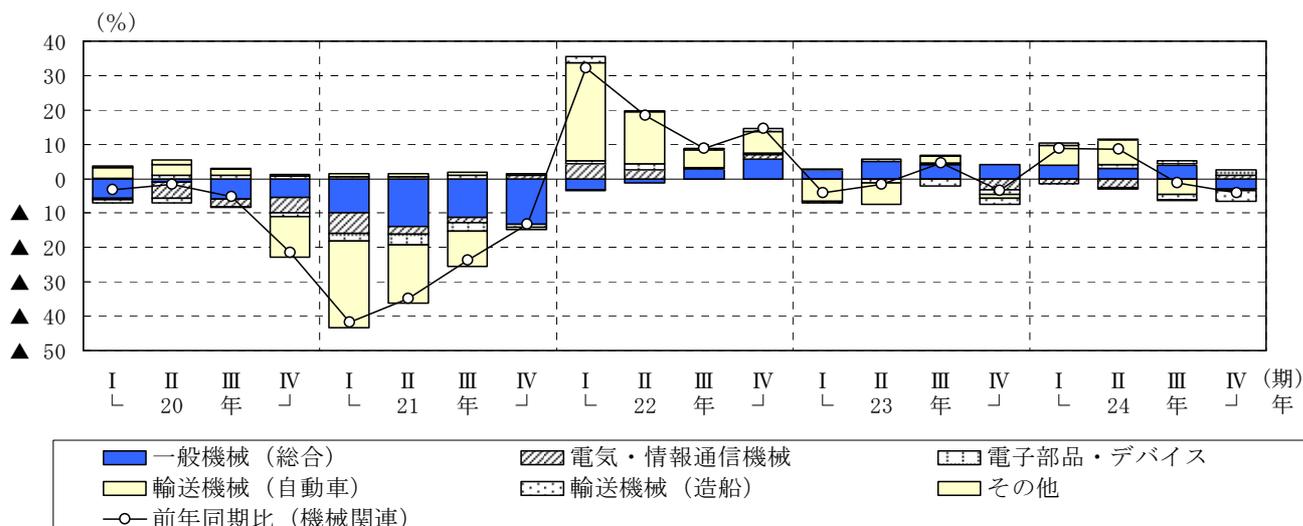
生活関連業種：繊維工業，食料品・たばこ工業，家具工業，その他製品工業の4業種

(1) 機械関連業種の生産指数の推移

機械関連業種の生産指数は、平成24年Ⅲ期以降はマイナスで推移

機械関連業種の生産指数は、電子部品・デバイス工業が前年同期比プラスで推移したものの、輸送機械工業(自動車)，輸送機械(造船)などがⅢ期以降低下に寄与した。このため、平成24年Ⅰ～Ⅱ期は前年同期比上昇(Ⅰ期前年同期比8.9%，Ⅱ期前年同期比8.6%)したものの、平成24年Ⅲ～Ⅳ期は前年同期を下回った(図5)。

図5 生産指数（機械関連業種）の前年同期比の推移及び業種別寄与度



① 一般機械工業（総合）

一般機械工業（総合）の生産指数は、124.0（前年比6.9%上昇）。半導体製造装置、クレーンなどが低下したものの、ショベル系掘削機、ボイラの部品などが上昇に寄与した。四半期ごとにみると、平成22年Ⅲ期から平成24年Ⅲ期まで、9期連続で前年同期を上回ったものの、Ⅳ期にはマイナスに転じた。

② 電気・情報通信機械工業

電気・情報通信機械工業は、86.5（前年比▲5.8%低下）。自動車用電気照明器具、電気計器などが上昇したものの、携帯電話、低圧遮断器などが低下に寄与した。四半期ごとにみると、平成24年Ⅰ～Ⅱ期は前年同期を下回り、Ⅲ期（前年同期比7.1%上昇）、Ⅳ期（前年同期比13.6%上昇）はプラスに転じた。

③ 電子部品・デバイス工業

電子部品・デバイス工業は、102.5（前年比8.1%上昇）。モス型半導体集積回路（CCD）、モス型半導体集積回路（ロジック）などが低下したものの、半導体集積回路、混成集積回路などが上昇に寄与した。四半期ごとにみると、平成24年Ⅱ期～平成24年Ⅳ期はプラスで推移している。

④ 輸送機械工業（自動車部門）

輸送機械工業（自動車部門）は、97.2（前年比4.3%上昇）。シャシーおよび車体部品、小型自動車が低下したものの、普通自動車、ディーゼルエンジンなどが上昇に寄与した。四半期ごとにみると、平成24年Ⅰ～Ⅱ期は前年同期を上回り、Ⅲ期（前年同期比▲10.7%低下）、Ⅳ期（前年同期比▲1.3%）はマイナスに転じた。

⑤ 輸送機械工業(造船部門)

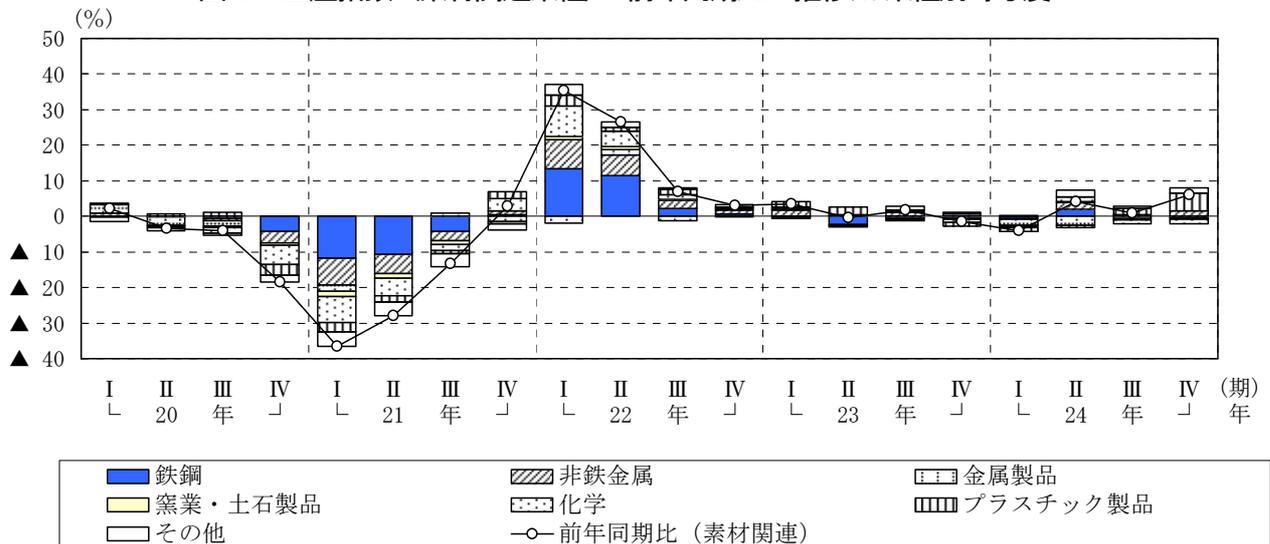
輸送機械工業(造船部門)は、85.8(前年比▲7.7%低下)。鋼船新造、船体ブロックなどが低下に寄与した。四半期ごとにみると、平成24年Ⅰ～Ⅱ期は前年同期を上回り、Ⅲ期以降はマイナスに転じた。平成24年Ⅳ期(前年同期比▲25.0%低下)は、現行基準で比較可能な平成20年以降で最大の下落率となった。

(2) 素材関連業種の生産指数の推移

素材関連業種の生産指数は、平成24年4～6月期以降はプラスで推移

素材関連業種の生産指数は、金属製品工業、窯業・土石製品工業などがマイナスで推移したものの、その他工業が上昇に寄与し、平成24年Ⅰ期(前年同期比▲4.0%低下)は前年同期を下回ったが、Ⅱ期以降は3期連続で前年同期を上回った(図6)。

図6 生産指数(素材関連業種)の前年同期比の推移及び業種別寄与度



① 鉄鋼業

鉄鋼業の生産指数は、97.9(前年比1.7%上昇)。銑鉄鋳物、鋼板などが低下したものの、亜鉛めっき鋼板、鋼帯などが上昇に寄与した。四半期ごとにみると、平成23年Ⅰ期から平成24年Ⅰ期まで、5期連続で前年同期を下回り、Ⅱ期(前年同期比8.3%上昇)、Ⅲ期(前年同期比2.3%上昇)はプラスに転じたものの、Ⅳ期で再びマイナスに転じた。

② 金属製品工業

金属製品工業は、82.1(前年比▲15.6%低下)。グレーチング、スチール・ステンレス建具などが上昇したものの、橋りょう、飲料用アルミニウム缶などが低下に寄与した。四半期ごとにみると、平成23年Ⅲ期から平成24年Ⅲ期まで、5期連続で前年同期を下回り、平成24年Ⅳ期は0.0%で推移している。

③ 化学工業

化学工業は、98.6(前年比▲2.6%低下)。医薬品、酸化第二鉄などが上昇したものの、メタクリル酸エステル・モノマー、アクリロニトリルなどが低下に寄与した。四半期ごとにみると、平成24年Ⅱ期は前年同期を上回ったが、それ以外は前年同期を下回っている。

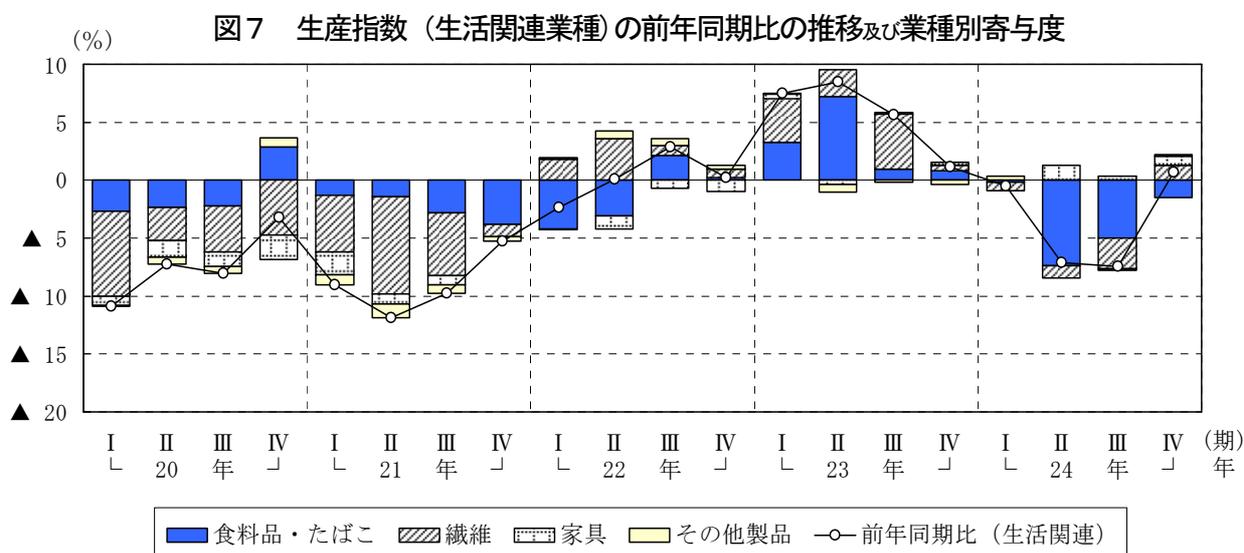
④ プラスチック製品工業

プラスチック製品工業は、109.8(前年比5.8%上昇)。容器、機械器具部品などが低下したものの、光学フィルム、日用品・雑貨などが上昇に寄与した。四半期ごとにみると、平成24年Ⅰ～Ⅱ期は前年同期を下回り、Ⅲ期(前年同期比7.5%上昇)、Ⅳ期(前年同期比25.8%上昇)はプラスに転じた。

(3) 生活関連業種の生産指数の推移

生活関連業種の生産指数は、平成24年Ⅳ期以外はマイナスで推移

生活関連業種の生産指数は、家具工業がプラスで推移したものの、食料品・たばこ工業、繊維工業が低下に寄与し、平成24年Ⅰ期以降、3期連続で前年同期を下回り、Ⅳ期は平成23年Ⅳ期以来、4期ぶりにプラスに転じた(図7)。



① 食料品・たばこ工業

食料品・たばこ工業の生産指数は、98.7(前年比▲7.0%低下)。清酒、瓶詰・缶詰が上昇したものの、清涼し好飲料、しょうゆなどが低下に寄与した。四半期ごとにみると、平成24年Ⅰ期から4期連続で前年同期を下回り、平成24年Ⅱ期(前年同期比▲14.1%低下)は、現行基準で比較可能な平成20年以降で最大の低下率となった。

② 繊維工業

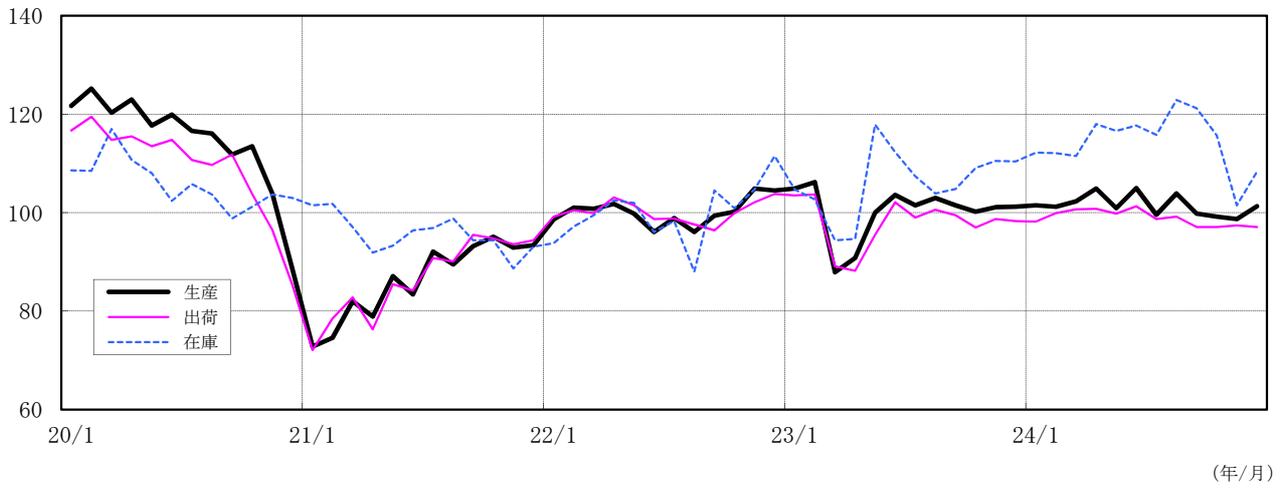
繊維工業は、106.3(前年比▲2.6%低下)。綿織物、綿糸などが上昇したものの、化学合成繊維、染色整理などが低下に寄与した。四半期ごとにみると、平成22年Ⅰ期～平成23年Ⅳ期まで、8期連続で前年同期を上回っていたが、平成24年Ⅰ期にマイナスに転じ、Ⅲ期まで3期連続で前年同期を下回った。

③ その他製品工業

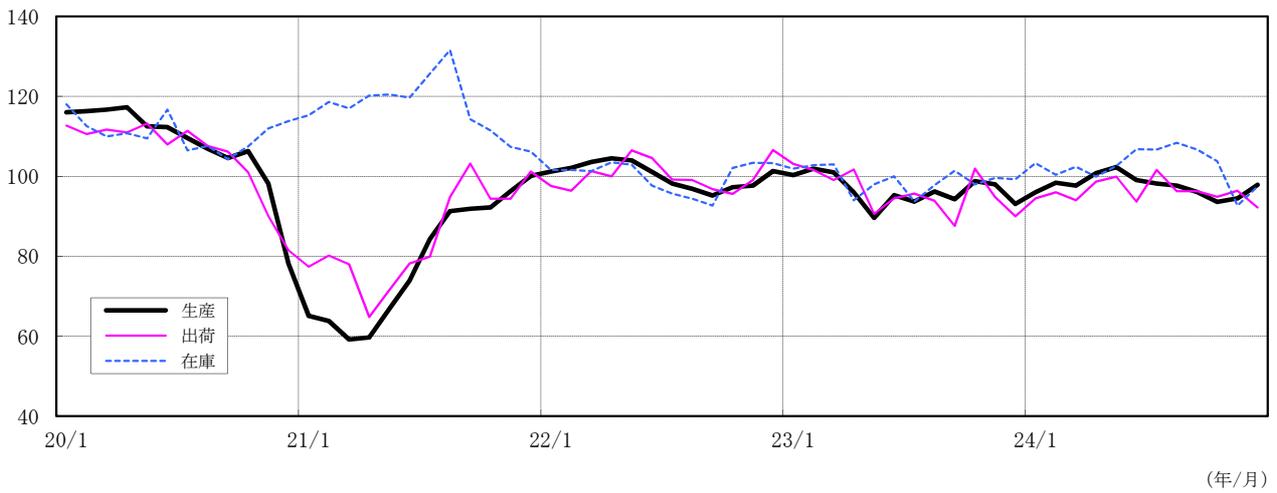
その他製品工業は、97.9(前年比0.7%上昇)。ボールペン、コールドタオルなどが低下したものの、平版印刷、手縫針などが上昇に寄与した。四半期ごとにみると、平成24年Ⅲ期は前年同期を下回ったが、それ以外は前年同期を上回った。

4 主要業種別季節調整済指数の推移(平成22年平均=)

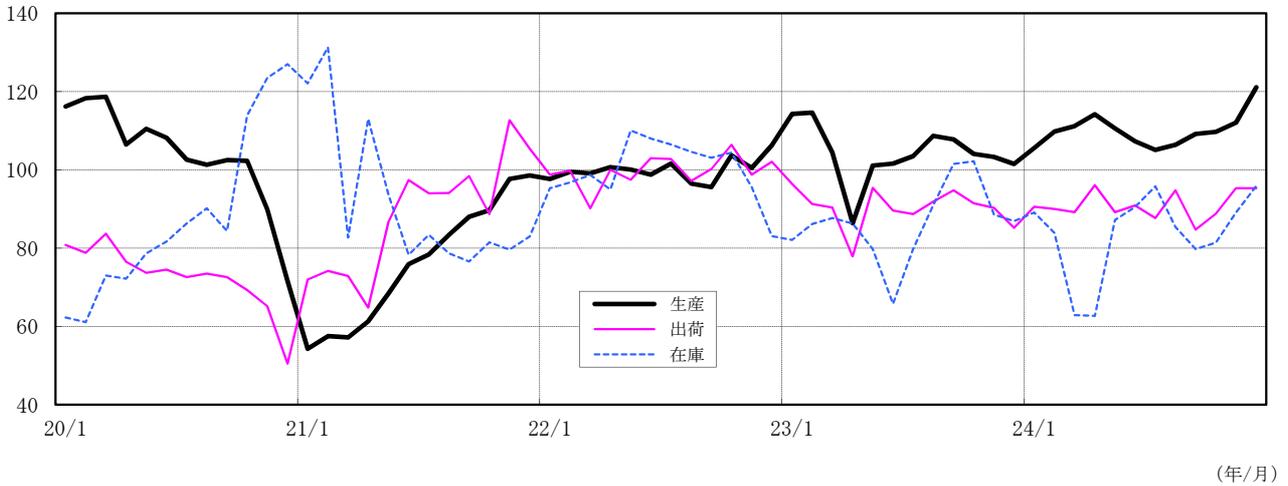
鋳工業 (付加価値額ウェイト=10000.0)



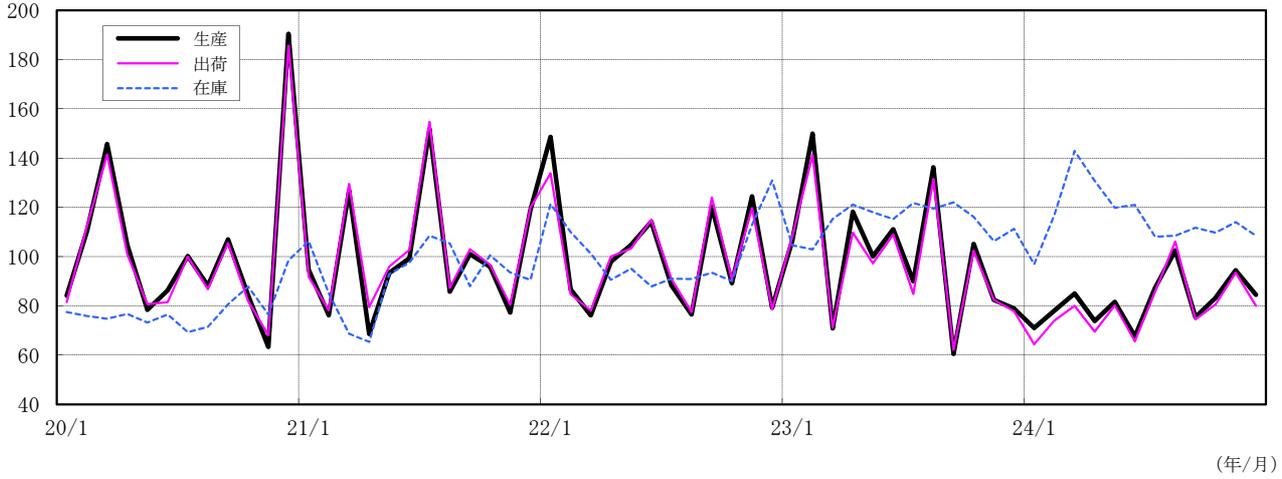
鉄鋼業 (付加価値額ウェイト=778.5)



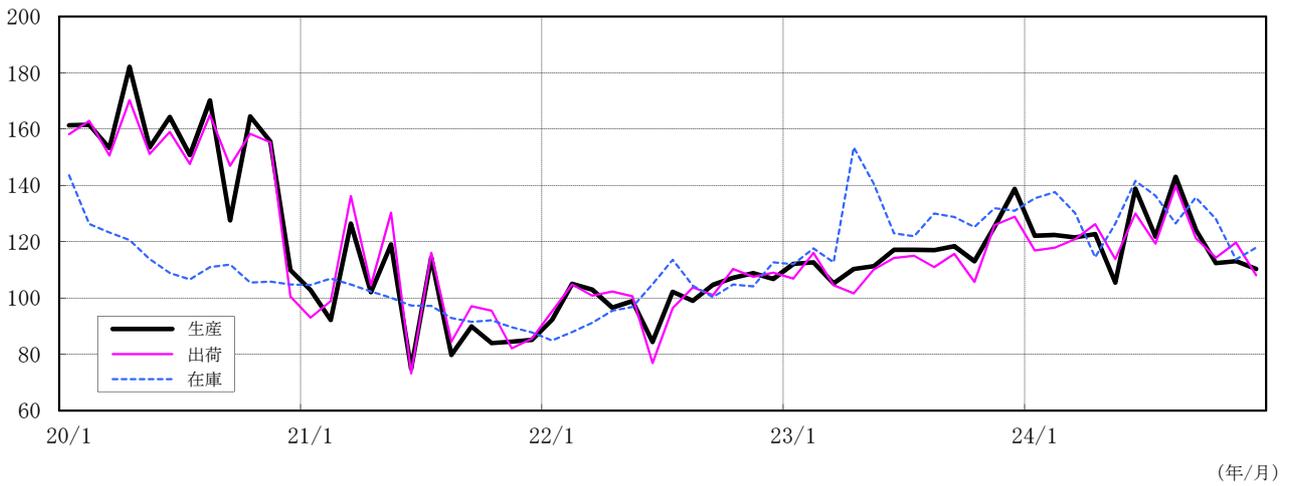
非鉄金属工業 (付加価値額ウェイト=454.1)



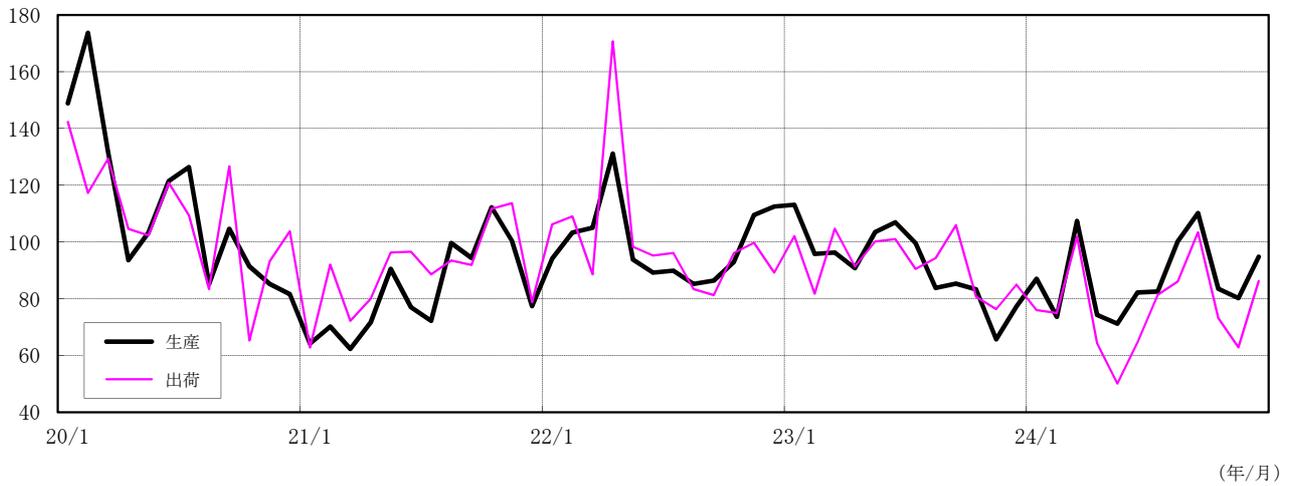
金属製品工業（付加価値額 $\times 100$ =241.6）



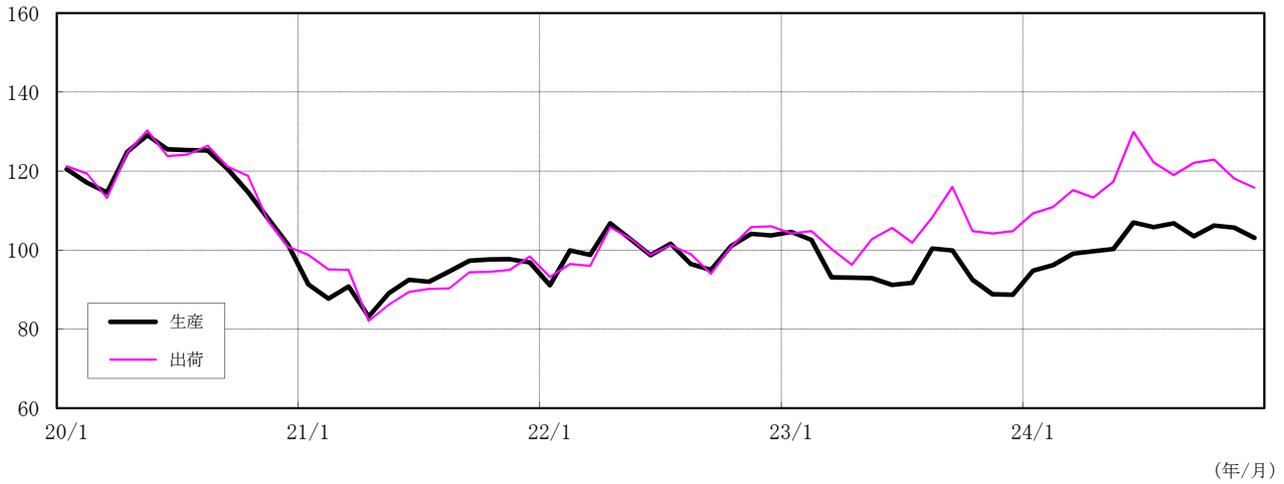
一般機械工業（総合）（付加価値額 $\times 100$ =1526.6）



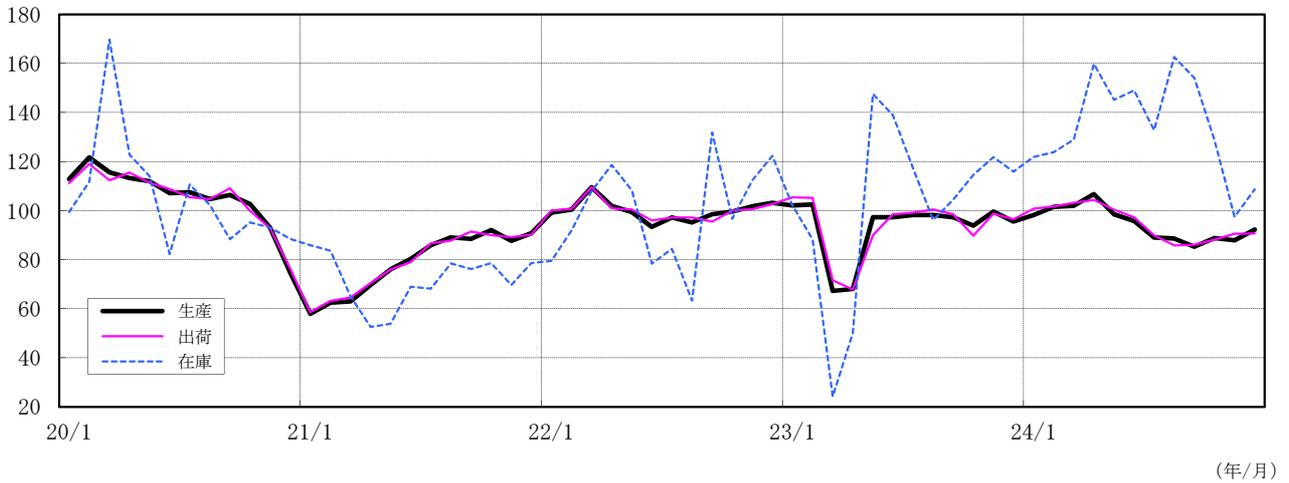
電気・情報通信機械工業（付加価値額 $\times 100$ =589.9）



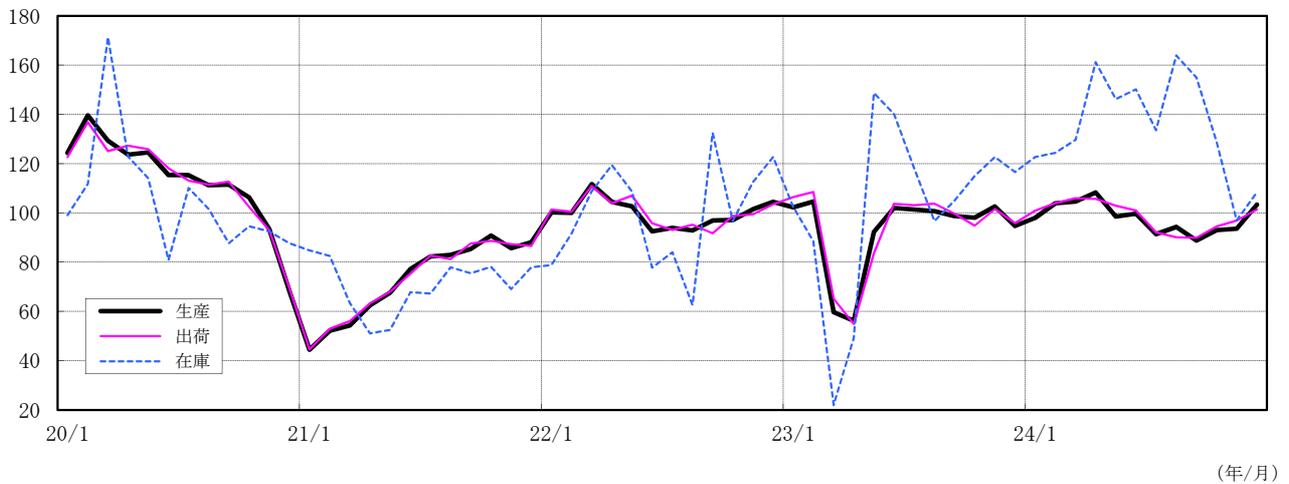
電子部品・デバイス工業（付加価値額ウェイト＝635.9）



輸送機械工業（付加価値額ウェイト＝3467.7）

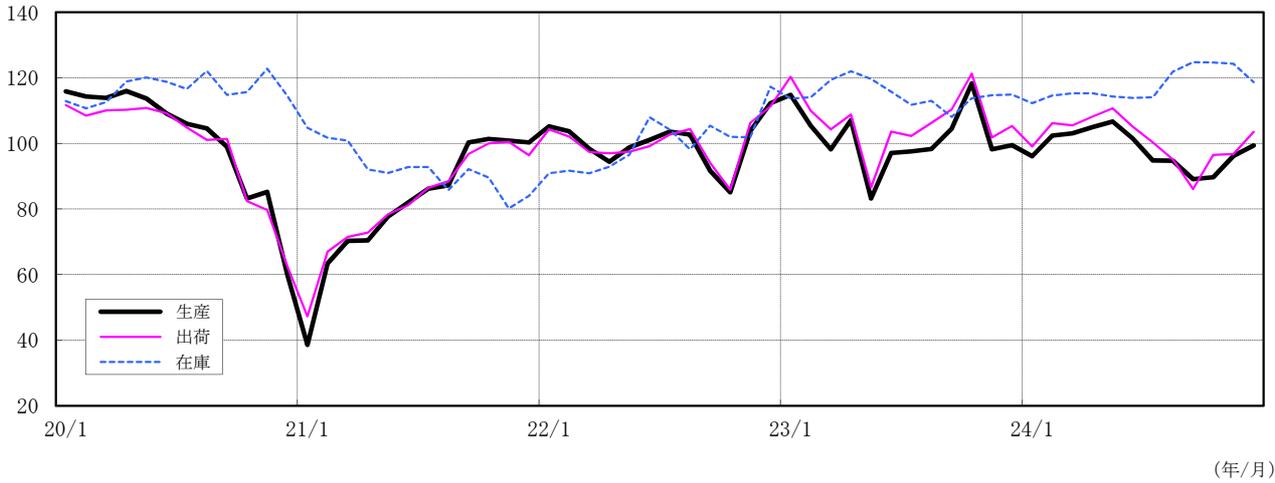


自動車部門（付加価値額ウェイト＝2624.8）

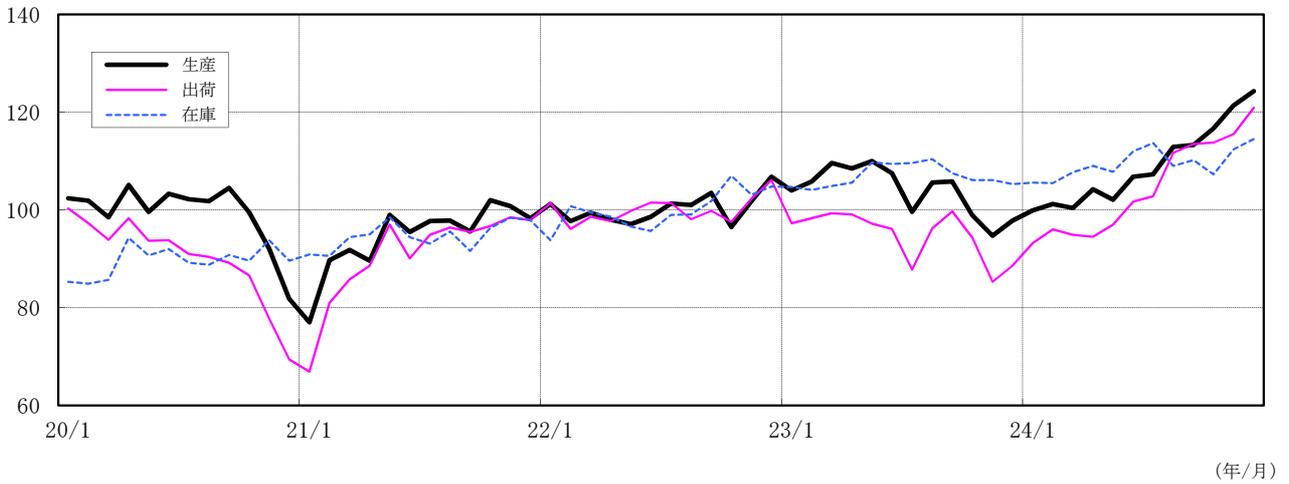


化学工業（付加価値額ウェイト＝447.1）

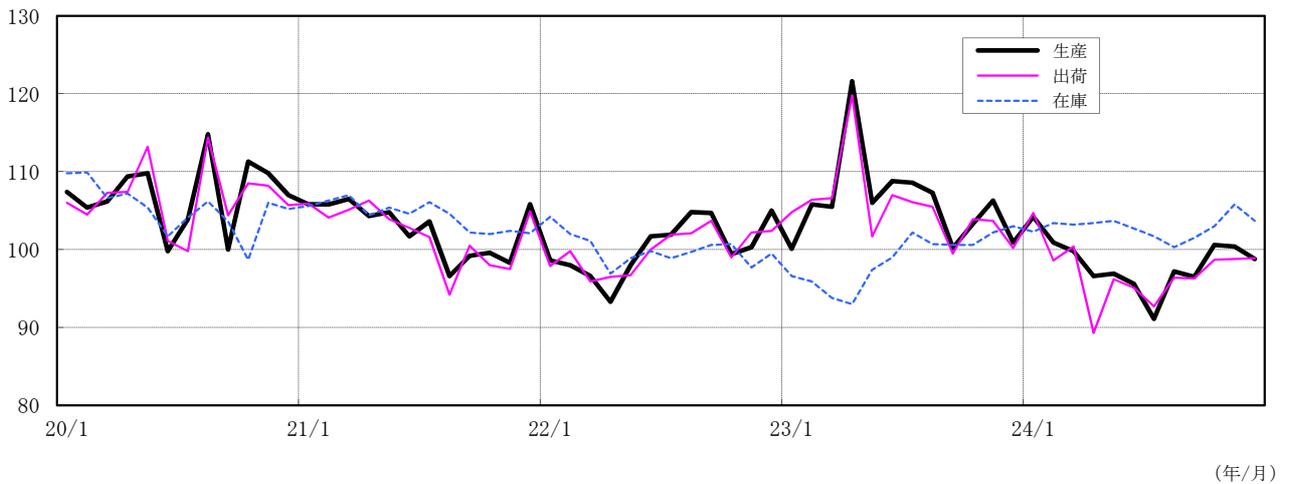
化学工業（付加価値額ウェイト=117.1）



プラスチック製品工業（付加価値額ウェイト=604.6）



食料品・たばこ工業（付加価値額ウェイト=357.0）



5 広島県、中国地方及び全国における鋳工業生産指数の推移

平成24年を四半期ごとにみると(図8)、広島県では平成24年Ⅱ期まで前年同期を上回ったが、Ⅲ期以降は前年同期を下回った。中国地方では各期とも前年同期を下回った。全国では平成24年Ⅱ期まで前年同期を上回ったが、Ⅲ期以降は前年同期を下回った。

図8-1 広島県の鋳工業生産指数の前年同期比の推移

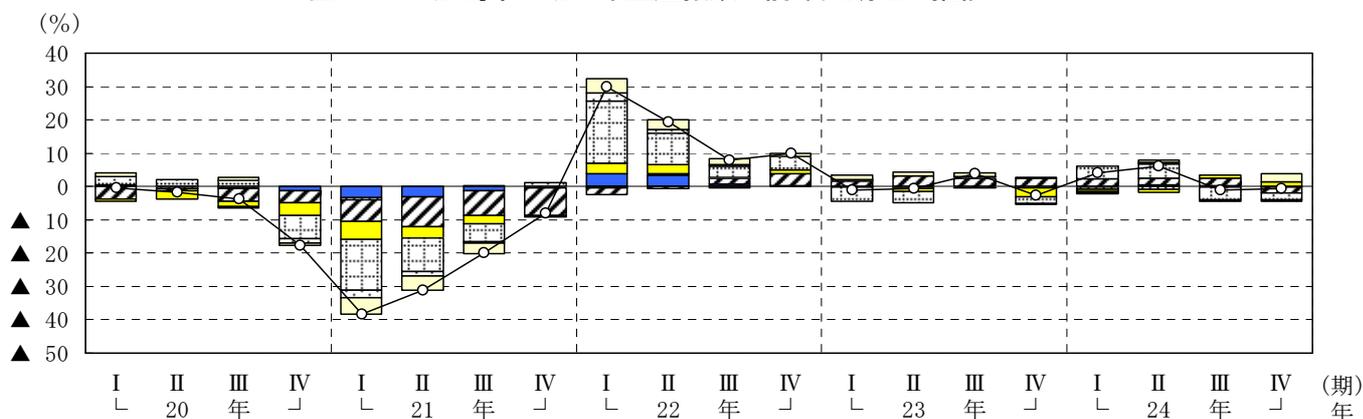


図8-2 中国地方の鋳工業生産指数の前年同期比の推移

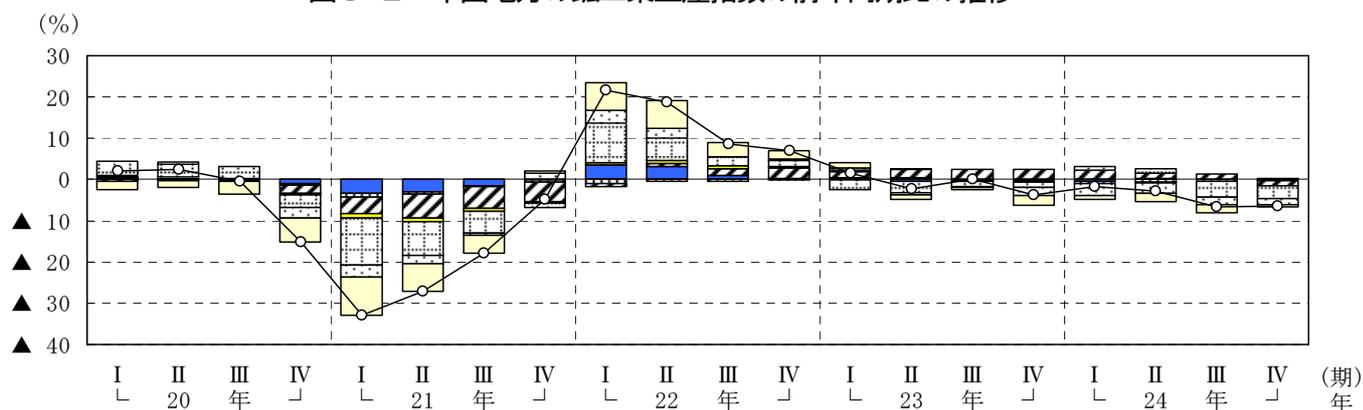
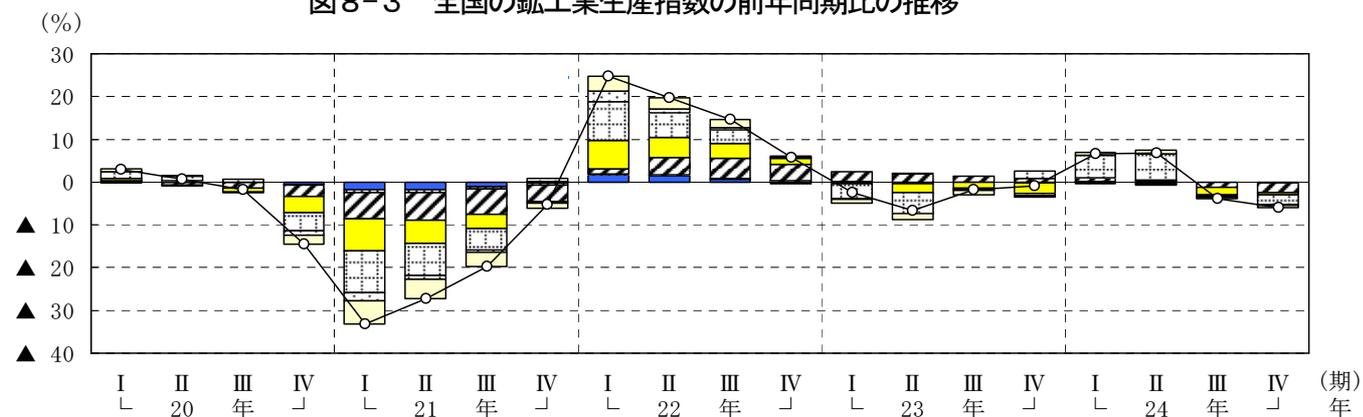


図8-3 全国の鋳工業生産指数の前年同期比の推移



■ 鉄鋼 ■ 金属製品 ▨ 一般機械(総合) ■ 電気機械(総合) □ 輸送機械 □ 化学 □ その他 ○— 鋳工業

出所：中国地方…「中国地域鋳工業生産動向」(経済産業省中国経済産業局) 全国…「鋳工業生産・出荷・在庫指徴」(経済産業省)

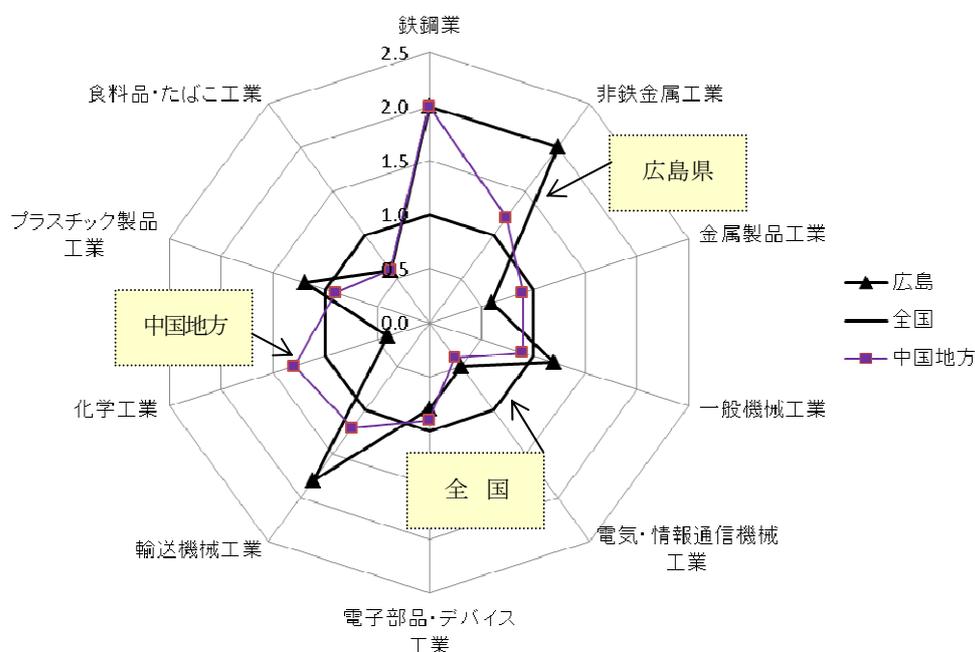
広島県の平成24年鉱工業生産指数は、前年とやや横ばいで推移している
また、広島県の前年同期比は、各期とも中国地方の前年同期比を上回った。

参考 鉱工業生産指数の付加価値額ウェイト(平成22年基準)について

特化係数^(注)を用いて、広島県の主要業種のウェイトが、全国や中国地方と比較してどの程度の偏りがあるか見てみると(図9)、全国との比較では、鉄鋼業、非鉄金属工業、輸送機械工業への特化の度合いが、大きい一方、金属製品工業、電気・情報通信機械工業、化学工業、食料品・たばこ工業の特化の度合いが小さい。中国地方との比較では、非鉄金属工業、輸送機械工業の特化の度合いが大きい、化学工業の特化の度合いが小さい。

図9 主要業種における広島県及び中国地方の特化係数

(各特化係数は、平成22年基準の付加価値額ウェイトにより算出)



生産 (付加価値額) ウェイト	鉄鋼業	非鉄金属 工業	金属製品 工業	一般機械 工業	電気・ 情報通信 機械工業	電子部品・ デバイス 工業	輸送機械 工業	化学工業	プラスチック 製品工業	食料品・ たばこ 工業
全国	391.1	232.5	418.1	1273.1	1121.1	818.6	1912.4	1277.4	507.5	613.9
中国地方	768.6	268.0	361.1	1118.7	487.3	706.5	2351.6	1644.2	435.5	378.2
広島	778.5	454.1	241.6	1526.6	589.9	635.9	3467.7	447.1	604.6	357.0

(注)特化係数 = 各地域の構成比 ÷ 全国の構成比

特化係数が1を超えると、その地域においてその業種の構成比が全国平均よりも相対的に高いことを表し、特化係数が1を下回ると、その地域においてその業種の構成比が全国平均よりも相対的に低いことを表す。

別表 広島県、中国地方及び全国の鉱工業生産指数

(平成22年平均=100)

年・期・月	広島県				中国地方				全国			
	季節調整 済指数	前月(期) 比	原指数	前年(同 月期)比	季節調整 済指数	前月(期) 比	原指数	前年(同 月期)比	季節調整 済指数	前月(期) 比	原指数	前年(同 月期)比
平成 20年	/	/	115.1	▲ 6.0	/	/	112.0	▲ 2.9	/	/	110.7	▲ 3.4
21年			86.2	▲ 25.1			88.1	▲ 21.3			86.5	▲ 21.9
22年			100.0	16.0			100.0	13.5			100.0	15.6
23年			99.9	▲ 0.1			98.9	▲ 1.1			97.2	▲ 2.8
24年			101.9	2.0			94.6	▲ 4.3			97.8	0.6
平成 20年 I 期	122.4	▲ 2.9	124.2	▲ 0.5	116.9	▲ 0.8	118.8	2.1	116.8	0.3	116.9	2.9
II 期	120.2	▲ 1.8	116.8	▲ 1.8	116.7	▲ 0.2	113.7	2.4	114.8	▲ 1.7	111.9	0.6
III 期	114.8	▲ 4.5	117.0	▲ 3.7	113.8	▲ 2.5	114.4	▲ 0.4	110.5	▲ 3.7	112.0	▲ 1.8
IV 期	102.0	▲ 11.1	102.5	▲ 17.6	99.5	▲ 12.6	101.1	▲ 15.1	99.8	▲ 9.7	102.0	▲ 14.6
21年 I 期	76.5	▲ 25.0	76.6	▲ 38.3	79.9	▲ 19.7	79.7	▲ 32.9	79.3	▲ 20.5	78.1	▲ 33.2
II 期	83.1	8.6	80.4	▲ 31.2	84.9	6.3	82.8	▲ 27.2	83.5	5.3	81.4	▲ 27.3
III 期	91.6	10.2	93.7	▲ 19.9	93.1	9.7	93.9	▲ 17.9	88.6	6.1	89.9	▲ 19.7
IV 期	93.8	2.4	94.2	▲ 8.1	94.6	1.6	96.1	▲ 4.9	94.9	7.1	96.6	▲ 5.3
22年 I 期	100.1	6.7	99.6	30.0	97.5	3.1	97.0	21.7	98.8	4.1	97.5	24.8
II 期	99.2	▲ 0.9	95.9	19.3	100.8	3.4	98.4	18.8	99.8	1.0	97.4	19.7
III 期	98.1	▲ 1.1	101.1	7.9	100.6	▲ 0.2	102.0	8.6	101.1	1.3	103.0	14.6
IV 期	103.2	5.2	103.5	9.9	101.3	0.7	102.7	6.9	100.7	▲ 0.4	102.1	5.7
23年 I 期	99.7	▲ 3.4	98.6	▲ 1.0	99.6	▲ 1.7	98.6	1.6	96.9	▲ 3.8	95.2	▲ 2.4
II 期	98.1	▲ 1.6	95.3	▲ 0.6	98.2	▲ 1.4	96.1	▲ 2.3	92.9	▲ 4.1	91.0	▲ 6.6
III 期	102.0	4.0	104.9	3.8	100.5	2.3	102.1	0.1	99.5	7.1	101.3	▲ 1.7
IV 期	100.8	▲ 1.2	100.8	▲ 2.6	98.0	▲ 2.5	98.9	▲ 3.7	100.5	1.0	101.2	▲ 0.9
24年 I 期	101.7	0.9	102.5	4.0	96.3	▲ 1.7	96.9	▲ 1.7	101.3	0.8	101.5	6.6
II 期	103.6	1.9	101.0	6.0	95.1	▲ 1.2	93.4	▲ 2.8	99.1	▲ 2.2	97.2	6.8
III 期	101.1	▲ 2.4	103.9	▲ 1.0	94.0	▲ 1.2	95.4	▲ 6.6	95.9	▲ 3.2	97.3	▲ 3.9
IV 期	99.7	▲ 1.4	100.2	▲ 0.6	92.5	▲ 1.6	92.6	▲ 6.4	94.1	▲ 1.9	95.2	▲ 5.9
平成 20年 1月	121.7	▲ 4.8	113.2	▲ 2.7	116.0	▲ 2.6	111.5	▲ 0.2	117.0	0.5	108.5	3.2
2月	125.2	2.9	124.0	8.6	117.7	1.5	118.7	7.9	117.3	0.3	117.0	5.9
3月	120.3	▲ 3.9	135.3	▲ 5.9	116.9	▲ 0.7	126.1	▲ 1.1	116.2	▲ 0.9	125.3	0.2
4月	123.0	2.2	116.0	▲ 0.2	118.1	1.0	114.2	3.9	115.5	▲ 0.6	111.0	1.6
5月	117.7	▲ 4.3	110.7	▲ 5.7	117.0	▲ 0.9	110.7	1.2	116.1	0.5	108.7	0.6
6月	119.9	1.9	123.8	0.6	115.1	▲ 1.6	116.1	2.2	112.9	▲ 2.8	115.9	▲ 0.3
7月	116.6	▲ 2.8	123.5	▲ 1.0	115.5	0.3	119.5	2.0	112.7	▲ 0.2	117.9	2.3
8月	116.1	▲ 0.4	108.2	▲ 6.1	113.6	▲ 1.6	107.7	▲ 2.9	108.7	▲ 3.5	101.2	▲ 7.8
9月	111.8	▲ 3.7	119.3	▲ 4.3	112.2	▲ 1.2	116.1	▲ 0.4	110.0	1.2	116.9	0.0
10月	113.5	1.5	114.6	▲ 6.4	110.7	▲ 1.3	111.1	▲ 4.6	107.4	▲ 2.4	111.7	▲ 7.7
11月	103.9	▲ 8.5	103.4	▲ 16.7	97.8	▲ 11.7	98.3	▲ 17.5	100.2	▲ 6.7	100.6	▲ 16.6
12月	88.5	▲ 14.8	89.4	▲ 29.4	89.9	▲ 8.1	94.0	▲ 22.8	91.9	▲ 8.3	93.7	▲ 19.9
21年 1月	72.8	▲ 17.7	67.4	▲ 40.5	78.0	▲ 13.2	74.4	▲ 33.3	83.8	▲ 8.8	76.6	▲ 29.4
2月	74.6	2.5	70.7	▲ 43.0	79.9	2.4	76.7	▲ 35.4	76.6	▲ 8.6	73.5	▲ 37.2
3月	82.0	9.9	91.8	▲ 32.2	81.8	2.4	88.1	▲ 30.1	77.6	1.3	84.3	▲ 32.7
4月	78.9	▲ 3.8	74.1	▲ 36.1	83.0	1.5	80.0	▲ 29.9	81.0	4.4	77.7	▲ 30.0
5月	87.1	10.4	80.3	▲ 27.5	85.7	3.3	80.6	▲ 27.2	84.0	3.7	77.3	▲ 28.9
6月	83.4	▲ 4.2	86.7	▲ 30.0	86.1	0.5	87.7	▲ 24.5	85.6	1.9	89.3	▲ 23.0
7月	92.1	10.4	98.2	▲ 20.5	93.5	8.6	97.4	▲ 18.5	86.7	1.3	91.3	▲ 22.6
8月	89.5	▲ 2.8	84.1	▲ 22.3	91.4	▲ 2.2	87.0	▲ 19.2	88.0	1.5	82.3	▲ 18.7
9月	93.2	4.1	98.9	▲ 17.1	94.4	3.3	97.4	▲ 16.1	91.0	3.4	96.1	▲ 17.8
10月	95.1	2.0	95.1	▲ 17.0	96.6	2.3	96.5	▲ 13.1	93.3	2.5	95.7	▲ 14.3
11月	92.9	▲ 2.3	93.5	▲ 9.6	94.4	▲ 2.3	95.3	▲ 3.1	95.3	2.1	96.6	▲ 4.0
12月	93.4	0.5	94.1	5.3	92.8	▲ 1.7	96.5	2.7	96.1	0.8	97.6	4.2

(平成22年平均=100)

年 月	広 島 県				中 国 地 方				全 国			
	季節調整 済指数	前月(期) 比	原指数	前年(同 月期)比	季節調整 済指数	前月(期) 比	原指数	前年(同 月期)比	季節調整 済指数	前月(期) 比	原指数	前年(同 月期)比
22年 1月	98.6	5.6	90.8	34.7	97.3	4.8	92.1	23.8	98.5	2.5	88.8	15.9
2月	101.0	2.4	95.2	34.7	97.3	0.0	93.1	21.4	98.9	0.4	94.7	28.8
3月	100.8	▲ 0.2	112.7	22.8	97.9	0.6	105.7	20.0	99.1	0.2	108.9	29.2
4月	101.8	1.0	95.3	28.6	100.8	3.0	96.8	21.0	100.2	1.1	96.2	23.8
5月	99.8	▲ 2.0	92.0	14.6	101.3	0.5	95.4	18.4	100.0	▲ 0.2	92.1	19.1
6月	96.1	▲ 3.7	100.3	15.7	100.4	▲ 0.9	102.9	17.3	99.2	▲ 0.8	103.9	16.3
7月	98.9	2.9	104.9	6.8	101.9	1.5	106.0	8.8	100.3	1.1	104.8	14.8
8月	96.1	▲ 2.8	91.6	8.9	99.9	▲ 2.0	96.1	10.5	100.7	0.4	95.7	16.3
9月	99.4	3.4	106.8	8.0	100.0	0.1	103.8	6.6	102.3	1.6	108.4	12.8
10月	100.2	0.8	99.2	4.3	99.6	▲ 0.4	99.1	2.7	99.4	▲ 2.8	100.3	4.8
11月	104.9	4.7	106.1	13.5	102.4	2.8	103.6	8.7	101.0	1.6	103.2	6.8
12月	104.5	▲ 0.4	105.1	11.7	102.0	▲ 0.4	105.4	9.2	101.6	0.6	102.9	5.4
23年 1月	104.9	0.4	97.8	7.7	102.3	0.3	96.9	5.2	102.1	0.5	92.7	4.4
2月	106.2	1.2	100.1	5.1	102.3	0.0	97.5	4.7	102.7	0.6	98.5	4.0
3月	87.9	▲ 17.2	97.8	▲ 13.2	94.1	▲ 8.0	101.5	▲ 4.0	85.8	▲ 16.5	94.4	▲ 13.3
4月	90.8	3.3	84.7	▲ 11.1	95.1	1.1	90.8	▲ 6.2	87.6	2.1	83.3	▲ 13.4
5月	100.0	10.1	92.5	0.5	98.8	3.9	93.6	▲ 1.9	93.6	6.8	87.4	▲ 5.1
6月	103.6	3.6	108.8	8.5	100.7	1.9	103.9	1.0	97.5	4.2	102.4	▲ 1.4
7月	101.5	▲ 2.0	106.6	1.6	100.0	▲ 0.7	103.8	▲ 2.1	98.7	1.2	102.1	▲ 2.6
8月	103.0	1.5	99.4	8.5	101.0	1.0	98.1	2.1	100.4	1.7	96.7	1.0
9月	101.5	▲ 1.5	108.8	1.9	100.6	▲ 0.4	104.3	0.5	99.5	▲ 0.9	105.1	▲ 3.0
10月	100.2	▲ 1.3	98.7	▲ 0.5	98.7	▲ 1.9	98.3	▲ 0.8	101.3	1.8	101.8	1.5
11月	101.1	0.9	102.1	▲ 3.8	98.0	▲ 0.7	98.8	▲ 4.6	99.1	▲ 2.2	100.7	▲ 2.4
12月	101.2	0.1	101.5	▲ 3.4	97.3	▲ 0.7	99.6	▲ 5.5	101.1	2.0	101.0	▲ 1.8
平成 24年 1月	101.5	0.3	94.3	▲ 3.6	96.0	▲ 1.3	90.7	▲ 6.4	101.5	0.4	92.8	0.1
2月	101.2	▲ 0.3	100.4	0.3	96.5	0.5	96.5	▲ 1.0	101.3	▲ 0.2	101.5	3.0
3月	102.3	1.1	112.9	15.4	96.4	▲ 0.1	103.6	2.1	101.1	▲ 0.2	110.1	16.6
4月	104.9	2.5	98.1	15.8	95.9	▲ 0.5	91.6	0.9	100.6	▲ 0.5	95.9	15.1
5月	100.9	▲ 3.8	94.8	2.5	94.2	▲ 1.8	90.2	▲ 3.6	98.8	▲ 1.8	94.0	7.6
6月	105.0	4.1	110.2	1.3	95.3	1.2	98.3	▲ 5.4	98.0	▲ 0.8	101.8	▲ 0.6
7月	99.6	▲ 5.1	104.8	▲ 1.7	93.2	▲ 2.2	97.3	▲ 6.3	97.5	▲ 0.5	102.2	0.1
8月	103.9	4.3	100.6	1.2	96.5	3.5	94.0	▲ 4.2	96.1	▲ 1.4	92.7	▲ 4.1
9月	99.8	▲ 3.9	106.4	▲ 2.2	92.2	▲ 4.5	94.9	▲ 9.0	94.0	▲ 2.2	97.1	▲ 7.6
10月	99.2	▲ 0.6	98.5	▲ 0.2	94.0	2.0	91.8	▲ 6.6	94.3	0.3	97.0	▲ 4.7
11月	98.7	▲ 0.5	100.7	▲ 1.4	91.7	▲ 2.4	92.7	▲ 6.2	93.4	▲ 1.0	95.2	▲ 5.5
12月	101.3	2.6	101.3	▲ 0.2	91.8	0.1	93.2	▲ 6.4	94.7	1.4	93.3	▲ 7.6

出所：中国地方 … 「中国地域鋳工業生産動向」（経済産業省中国経済産業局）

全 国 … 「鋳工業生産・出荷・在庫指数」（経済産業省）